

野洲川クリーン活動

背景



2022年5月に、守山市「湖岸緑地野洲川河口」湖岸の大量漂着ゴミに衝撃を受けました。その後、守山市近辺の清掃活動の情報をネットで調べ、県や守山市主催の清掃活動、「淡海を守る釣り人の会」の「滋賀セブンの森」や清掃活動、「びわこ農穀の郷」の目田川モデル河川、「やす緑のひろば」の野洲川北流跡自然の森の整備、「フィールドワークやす」の河川清掃、「守山をキレイにし隊」のびわこ地球市民の森で清掃活動等に参加し、それ以外に約1年間ほど湖岸を個人でゴミ拾いをしました。湖岸で拾ったゴミが土砂で汚れていれば、水で洗ったり、乾かす手間があり、いくら拾っても強風や大雨の後等に漂着ゴミがあることも。そんな中、野洲川の高水敷や低水路内の中洲で幼木踏み倒し工事がされ、大量のゴミがあるのを見て、それを拾っていくうちに、徐々に野洲川下流域（近江富士大橋から河口まで）の方がメインになりました。工事後から草や木が伸長してゴミが発見、拾い辛くなる5月中旬までに、一人では拾い切れない事から、琵琶湖河川レンジャーの根木山さんの協力を得て、今年4月に野洲川河川清掃の一般募集をしました。その参加者の2名が加入して下さり、「野洲川クリーン活動」を立ち上げました。

目的



野洲川、琵琶湖岸がゴミの落ちていない綺麗な状態にしたい！

活動内容



団体自体の活動は、今年4月に野洲川河口の中洲大橋両岸で清掃活動をしたのみですが、守山市の令和7年度さんまちサポ助成金チャレンジ応援事業に応募し採択され、助成金でビブス、のぼり旗を購入出来ましたので、個人で野洲川のゴミ拾いをしている際にもビブス着用したり、やす緑のひろばの活動や水上レンジャーの野洲川河川清掃参加時も着用しています。それ以外には、滋賀県の導入されているデジタル地域通貨まちのコイン「ビワコ」のスポットになり、オンライン上でゴミを拾った人にビワコを報酬として払ったり、PR目的で「まちのクイズ」に頻繁に出題をしています。

これから



毎春、比良おろしによって野洲川河口に大量の漂着ゴミがあるので、それを拾うのを定例活動にし、タイムラプス撮影してyoutubeにアップします。

夏に河口部の水草群生地に漂着ゴミがあったので、将来はカヤックかSUPで回収するイベントを開きたいです。

野洲川右岸の近江妙連大橋周辺に頻繁にゴミが捨てられるので、定期的にボランティアで草刈りをし、抑制します。

会員を増やして、いすれば竜王清流会のように堤防表法面の護岸コンクリートに溜まった土砂を除去するのもしたいです。

野洲川周辺で実施する工事・工作物からのゴミ発生防止と除草工事の際、同時に散在性ゴミの回収をするように琵琶湖河川事務所、県及び守山市へ要望します。

ポイ捨て禁止条例を近江八幡市や和歌山県のように、違反者へ適用実績が無い罰金ではなく、行政罰の過料にし、取り締まり、徴収するもの駐禁の線のおじさん同様に警察官でもなく出来るように、県や守山市へ働きかけます。

具体的には県、市長への手紙。県、市議会議員への嘆願、陳情。それらでも駄目なら直接請求制度でポイ捨て禁止条例の制定、改定を署名活動でします。

